

令和 5年 8月 23日
10時 30分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17番 氏名 永見 利久

答弁を求める者 (○をつける)
 ○市長 ○教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長
 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、防災対策について

今年も、梅雨末期の集中豪雨で7月8日から9日に警報が出されるなど大雨が降りましたが、被害の発生も少なく大事には至りませんでした。その後、台風6号は沖縄県を始め、九州各県と山口県に、また台風7号は近畿・東海地方、そして鳥取県・岡山県に大変な被害をもたらしました。今回浜田市は、雨による被害はありませんでしたが、台風シーズンはまだ9月、10月と続きますので、防災対策に関連した質問をさせていただきます。

- ① 令和5年度の総合防災訓練のテーマは、水害・土砂災害における防災活動でした。平成29年の水害では、波佐地区の若生が孤立し、防災ヘリコプターでの救助や、災害物資の搬送がされたほどの状況でしたが、その直前に行われた総合防災訓練が役立ち適切な対応がされました。浜田市は、690㎡の面積があり、海岸地域もあれば、中山間地域もあり、いろいろな災害が想定されます。防災訓練の成果がより一層高まるものにするために、一律のテーマで訓練するよりも、地域の実情にあった個別のテーマで訓練した方がよいと思いますがご所見を伺います。
- ② 土砂災害防止法に基づく区域指定の、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)があります。島根県内には、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)は2万808箇所と発表されていますが、浜田市の土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定箇所数を伺います。
- ③ 避難所の区分には、初動開所避難所、指定避難所、一時(緊急)避難所、福祉避難所がありますが、全市の避難所数について伺います。
- ④ 土砂災害警戒区域、急傾斜地の崩壊、土石流又は地滑り等が発生する恐れがある区域の避難所の状況について伺います。
- ⑤ 令和3年の豪雨では、周布小学校が避難所として指定されていましたが、周布地区の浸

水被害の発生が想定されるため、第3中学校を避難所として指定された経緯があります。ハザードマップによる浸水区域の学校施設や避難所の状況について伺います。

2、小中学校プールの減少について

児童生徒の教育環境の観点からプールの減少について伺います。浜田市内の小中学校の屋外プールは減少しています。保護者からは、何とかならないのかとの声もあります。それに関連し水泳の授業時間も少なくなり、泳げない子どもが増加するのではと心配されます。その結果、水の事故にも繋がるのではとの思いで関連した質問を致します。

- ① 現在、市内の小中学校で利用可能な屋外プールの状況について伺います。
- ② 学校のプールがない、また、老朽化で使用できない学校の児童生徒に対しての水泳授業について伺います。
- ③ 夏休み中の学校プールの活用状況について伺います。
- ④ 今後、学校プールの改修や新設についての考えを伺います。